

2012年度 卒業研究 論文題目

◎ 基礎・健康開発看護学講座

➡ 看護アセスメント学分野

(指導教員 丸山良子)

- ・ 若年健康成人における側臥位と循環動態および自律神経活動の関連について
- ・ 体位と自律神経活動および循環動態の性差について
- ・ 文献からみる高血圧と性差の関係について
- ・ 出生体重と循環動態・自律神経活動の関連について
- ・ 出生体重と循環動態・自律神経活動の関連について -在胎日数での比較-

(指導教員 菅野恵美)

- ・ (論文題目非公開)
- ・ (論文題目非公開)

➡ 看護教育・管理学分野

(指導教員 朝倉京子)

- ・ 看護師の専門職的自律意識と離職意向との関連
- ・ 看護師の離職意向と職務満足度との関連
- ・ 看護師の蓄積疲労と職務満足度との関連

➡ 老年・在宅看護学分野

(指導教員 川原礼子)

- ・ 独居高齢者に対して病棟看護師が行う退院支援についての文献検討
- ・ 訪問看護ステーション不足についての文献検討
- 経営およびその関連要因に焦点を当てて -
- ・ 地域包括支援センターの高齢者生活支援の現状と課題
- ・ 高齢者の生きがい形成における関連要因についての文献検討
- 都市部と地方の特徴に焦点を当てて -

(指導教員 齋藤美華)

- ・ 認知症高齢者を抱える家族会に関する文献検討
- ・ 女性高齢者における化粧の効果に関する文献検討
- ・ 施設入所高齢者と援助者の生活に対する認識の差に関する文献検討
施設入所高齢者の思いと看護職の高齢者ケアに関する認識に焦点を当てて-

(指導教員 大槻久美)

- ・ 訪問看護師の教育体制に関する文献検討 —新人教育と現任教育に着目して—
- ・ 高齢入院患者の治療に関する看護師による意思決定支援の現状と課題

➔ 地域ケアシステム看護学分野

(指導教員 末永カツ子)

- ・ 障害がある人のセルフアドボカシー活動の展開と促進プロセス
- ・ 福島第一原子力発電所事故における保健師活動
- ・ 放射線災害における保健師の役割と課題
- ・ 東日本大震災発生後の自治体保健師による保健活動に関する文献検討

(指導教員 高橋香子)

- ・ 仮設住宅のサロンに参加している高齢者の抱える不安に関する考察
- ・ 被災地でサロン活動に参加する高齢者の参加目的に関する検討
—東日本大震災で被災したA市仮設住宅でのサロン活動事例を通して—

➔ 地域保健学分野

(指導教員 南優子)

- ・ 喫煙と乳がんリスクとの関連：ホルモンレセプター別の解析
- ・ 身長、体重、BMI、運動と乳がん罹患リスクとの関連

➔ 国際看護管理学分野

(指導教員 平野かよ子)

- ・ アフリカ大陸におけるHIV/AIDS
-中央アフリカ共和国を中心としたその実態と感染防止の方向性-

🌸 家族支援看護学講座

➔ 成人看護学分野

(指導教員 菊地史子)

- ・ 終末期を迎えたことによる患者と家族のつながりの変化
—緩和ケアにおける終末期リハビリテーションを通して—
- ・ 終末期にある患者の家族が自分の存在価値に気づくことの重要性
—緩和ケア病棟における終末期リハビリテーションを通して—

➡ がん看護学分野

(指導教員 佐藤富美子)

- ・ がん患者のソーシャル・サポートに関する文献検討
- ・ 上部消化器がん術後患者の消化器症状と食の変化に起因する心理社会的影響に関する文献検討
- ・ がん患者の家族が予後告知を受けて抱える苦悩に関する文献検討
- ・ 外来科学療法を受ける患者が抱く不安に関する文献検討
- ・ 終末期がん患者を在宅介護する家族が抱く感情に関する文献検討

(指導教員 柏倉栄子)

- ・ 肝炎由来の肝臓がん患者の体験と看護支援の検討—過去10年間(2001~2010)の文献レビューから—
- ・ 喉頭摘出患者のボディイメージの変化の受容プロセスと看護援助に関する文献検討
- ・ 開腹術を受ける患者の早期離床を促す術前オリエンテーションに関する文献検討

(指導教員 佐藤菜保子)

- ・ 我が国の森林浴研究に関する文献的考察
- ・ 笑いの有効性に関する文献的考察

➡ 緩和ケア看護学分野

(指導教員 宮下光令)

- ・ 緩和ケア病棟で死亡したがん患者の遺族のアンケートの自由記述に基づく改善点・要望と良かったことの分析 -J-HOPE2 研究-
- ・ 緩和ケア病棟で死亡したがん患者の遺族に寄る緩和ケアの質の評価と患者・遺族の背景要因の関連 -J-HOPE2 研究-
- ・ 緩和ケア病棟で死亡したがん患者の遺族による緩和ケアの質の評価と施設要因の関連 -J-HOPE2 研究-
- ・ 一般病棟で死亡したがん患者の遺族のアンケートの自由記述に基づく改善点・要望と良かったことの分析 -J-HOPE2 研究-
- ・ 一般病棟で死亡したがん患者の遺族による緩和ケアの質と評価と患者・遺族の背景要因の関連 -J-HOPE2 研究-
- ・ 一般病棟で死亡したがん患者の遺族による緩和ケアの質の評価と施設要因の関連 -J-HOPE2 研究-
- ・ 在宅ホスピスを受けて死亡したがん患者の遺族のアンケートの自由記述に基づく改善点・要望と良かったことの分析 -J-HOPE2 研究-

- ・ 在宅ホスピスを受けて死亡したがん患者の遺族による緩和ケアの質の評価と患者・遺族の背景要因の関連 -J-HOPE2 研究-
- ・ 在宅ホスピスを受けて死亡したがん患者の遺族による緩和ケアの質の評価と施設要因の関連 -J-HOPE2 研究-
- ・ Caregiver Quality of Life Index - Cancer (CQOLC) 日本語版尺度の信頼性・妥当性の検証
- ・ がん患者の家族の QOL の一般市民との比較 -SF-36 による QOL 検討-
(指導教員 佐藤一樹)
- ・ 緩和ケア病棟の施設概要・利用状況・研修受け入れ状況の平均在棟日数による比較
- ・ 在宅緩和ケアを受けた終末期がん患者の在宅診療中止の実態と関連要因
-カルテ調査の結果から-
- ・ 緩和ケア病棟で療養する患者の家族の不安・抑うつの実態とその関連要因

➡ 小児看護学分野

(指導教員 塩飽仁)

- ・ 大学生の自己開示に影響を与える家族関係に関する調査
(指導教員 鈴木祐子)
- ・ 東日本大震災で被災した石巻と仙台の子どもの保護者がとらえたボランティアによる遊び支援の効果および子どもの外傷後成長の評価

➡ 精神看護学分野

(指導教員 齋藤秀光)

- ・ 新卒看護師のメンタルヘルス不調による早期離職に関する文献検討
- ・ 子どもを亡くした家族をケアする看護職の心情-周産期死亡と小児死亡の比較-

➡ 周産期看護学分野

(指導教員 佐藤喜根子)

- ・ 宮城県周産期医療従事者の東日本大震災 1 年後のストレス症状の実態
- ・ 東日本大震災による周産期医療従事者のストレス症状-家族形態, 被災状況, 勤務状況との関連-
- ・ 東日本大震災により地盤崩落が指摘されている丘陵部宅地に居住を余儀なくされている人々の健康意識調査
- ・ 大学生におけるデートDV の認知と実態-自尊感情と性・年齢別との関連性-

(指導教員 小山田信子)

- ・ 喫煙妊婦への禁煙指導の動向と課題
- ・ セクシュアリティに関する看護ケアについての文献的一考察

(指導教員 佐藤祥子)

- ・ 妊娠初期の初妊婦が実母から受けた支援と望む支援の検討
- ・ NICU 入院児を持つ母親の出産体験のとらえ方の検証と看護支援の検討
- ・ NICU 入院児を持つ母親の初回面会時に抱くプラスの感情と体験

➡ ウィメンズヘルス看護学分野

(指導教員 吉沢豊子)

- ・ 災害と月経・リプロダクティブヘルス-四川大地震で被災した女性の月経に関する3 件の論文を比較して-
- ・ 震災後の母子の身体的・精神的問題について-文献検討の結果から-
- ・ 産褥期の浮腫に関する文献検討—浮腫出現の実態と看護ケアの効果—

(指導教員 跡上富美)

- ・ 中高年男性における更年期症状の現状—夫婦関係と日本版HLC(主観的健康統制感)尺度からの考察—
- ・ 中高年世代女性の更年期症状と夫婦関係との関連についての検討

🌸 医学系研究科他専攻

- ➡ 東北大学病院老年科 (指導教員 小坂陽一)
- ➡ 東北大学加齢医学研究所 高齢者薬物治療 (指導教員 大類孝)
- ➡ 東北大学加齢医学研究所 老年医学分野 (指導教員 荒井啓行)
- ・ 経管栄養施行高齢者における間接熱量測定法を用いた必要栄養量の検討